

世界ヒバクシャ展新聞



リオ+20のピープルズ サミットで写真展開催

さる6月、ブラジルのリオデジャネイロで、地球サミット（環境と開発に関する国連会議）から20年を機に、リオ+20（持続可能な開発に関する国連会議）が開催されました。

世界ヒバクシャ展は、本会議と並行して開催された「反核デモ」で、写真展開催しました（写真上）。参加者の関心は高く、各国での写真展開催の話も進み始めました。約1週間にわたって、テ

被爆者の写真掲げ 一斉デモに参加

本会議の始まる220日には、リオの中心街で行われた一斉デモ参加し、広島の被爆者、藤原モトヨさんや富永初子さんの写真を掲げて、地元反核グループと一緒に、街を歩きました。

さすがサンバの国ブラジルだけにデモはすごい盛り上がりでした。

写真下 「核エネルギーはノーサンキュー」の横断幕を掲げる地元反核グループとともに歩く森下美歩（左端）
写真右下 被爆者・藤原モトヨさんの写真を掲げるデモ参加者



写真上 青空写真展で足を止めて写真を見つめる人たち 写真右 ヒバクシャの写真の説明を熱心に聞くブラジルの高校生たち



動く人たちの声を届けるイベントでも、福島の写真をはじめとする世界ヒバクシャ展の写真を紹介してきました。

ハトカードに メッセージ

リオ+20に参加するに当たって、写真展会場



などで、牛乳パックで紙をすき、手づくりしたハトカードに、核のない世界を目指す想いなどを書いてもらいました。そのメッセージを紹介するとともに、写真を見たりオ



世田谷のみんの未来の教室でもメッセージ
東京・下北沢で5月27日に開かれた「世田谷工
ネルギースフト みんな
の未来の教室」での写真
展でも、ハトカードに
メッセージを書いてもら
いました（写真上）。

+20の参加者や子どもたちにメッセージを書いてもらいました。メッセージは、これから開催する写真展やWEBで順次紹介していきます。

世界ヒバクシャ展@ポレポレ坐

開催場所 ポレポレ坐 Tel 03-3227-1445

◆写真展 JR東中野駅西口徒歩1分(大江戸線A1出口)

7月24日(月)~8月5日(日) 休み30(月)
火~土 11:30~21:00 日 11:30~18:00
※イベント開催時間中はご覧いただけません。

◆トークイベント

◇7月28日(土) 14:00~16:00 参加費1200円

あなたは知っていますか?
韓国・朝鮮人被爆者&海洋の放射能汚染
トーク 伊藤孝司(フォトジャーナリスト)
田島伸二(寓話作家、国際識字文化センター代表)
※「大亀ガウディの海」の紹介ミニビデオ上映

◇8月4日(土) 13:00~18:00 参加費3000円

311から未来へ見て聞いて味わうライブ講演
女性の目覚めと行動で内部被曝を乗り越え、
世界を変える つぶつぶ料理の試食付き
トーク 森下美歩(世界ヒバクシャ展代表)
ゆみこ(未来食つぶつぶ創始者)
橋本俊彦(自然医学放射線防護情報室代表)

主催&お申し込み
311から未来へライブ講演会中野実行委員会
<http://kokucheese.com/event/index/43821/>
Tel/Fax 0422-38-8297

◇8月5日(日) 14:00~16:00 参加費1200円

親子で楽しむ「アレクセイと泉のはなし」
朗読 日色とも系(女優)
トーク 日色とも系&本橋成一(写真家、映画監督)
※7/28、8/5に関するお申し込み・お問い合わせ
Tel 03-3723-1004
携帯 080-3392-1110(森下)
050-3369-3202(安在)
メール hibakushaten@gmail.com

■広島被爆者育て地蔵尊及び被爆物故者供養会で写真展示
8月6日(月) 午前11時~(写真展示は14:30ごろまで)
東京都目黒区八雲1丁目2-10の常圓寺での被曝地蔵供養に合わせて本堂に世界のヒバクシャの写真を展示します。

【全国各地での写真展 =写真貸出イベント】

■アウシュヴィッツ平和博物館 7月20日(金)~9月20日(木)
福島県白河市白坂三輪台245 Tel 0248-28-2108
<http://www.am-j.or.jp/>

■目黒区総合庁舎(平和のための写真・資料展)

8月2日(木)~8月15日(水)
東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
目黒区在住の広島被爆者の80才男性の働きかけで、世界ヒバクシャ展の写真の一部も展示させていただくことになりました。

■藤沢カトリック教会 8月12日(日)
神奈川県藤沢市鶴沼石上1-1-17 Tel 0466-27-2787
http://www.geocities.jp/fujisawa_church/

■鎌倉駅地下道ギャラリー-50 8月1日(水)~8月6日(月)
鎌倉市平和推進実行委員会主催

■草加市中央公民館(10月14日)などでも開催の予定です。



世界の核被害を写真と地図で伝える サムライマップが大好評でした

リオ+20に参加するに当たって、原水爆、原発事故、ウラン採掘などによる世界中の核被害をヒバクシャの写真とともに伝える英語版の核被害マップを作成しました。情報収集、翻訳、デザインなどでボランティアさんが大活躍してくれて、とてもチャームなマップができました。

時には自らも被曝しながらレンズを通して核の恐怖を追い続けた6人の写真家をサムライになぞらえて、サムライマップと名付けたこのマップ、「分かりやすい」と大好評でした。カンパ500円以上(+送料)でお譲りしています。日本語版も近く制作します。

新体制で再出発しました

6年にわたって活動を休止していたNPO法人世界ヒバクシャ展は、昨年12月の緊急フォーラムから活動を再開しましたが、さる6月5日に総会を開催し、本格的に再スタートを切りました。

- ◇新理事
 - ・安在尚人 (事務局長)
 - ・上條恒彦 (歌手)
 - ・田島伸二 (国際識字文化センター代表)
 - ・森下美歩 (代表)
 - ・山本尚範 (医師、市民と科学者の内部被曝問題研究会)
 - ◇新監事
 - ・深澤好行 (中小企業診断士)
- 今回、残念なことに亡く

なられたり、体調不良で辞退され方もいらつしやいました。お世話になった方々にも、引き続き活動を見守っていただければ幸いです。森下一徹は、体調不良のため代表を退き、顧問として会の活動を支援していきます。今後は、森下一徹の活動を見守ってきた森下美歩が、代表として、活動を担っていきます。

「いっしょにやる」と、世界中の人たちが共感

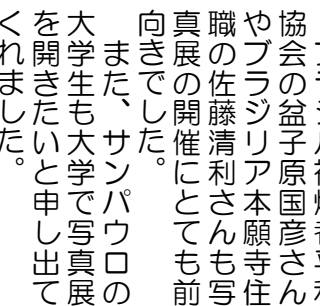
ピープルズサミットの会場を歩き来する人も多く、「自分たちの国でも写真展を開きたい」という人たちにたくさん会うことができました。(世界ヒバクシャ展代表・森下美歩)



◆ブラジル 反核テントを運営していたブラジル



ブラジルの反核運動のリーダー、シコさんは、初めて会って世界ヒバクシャ展の写真を見せ、活動を説明した。ブラジル被爆者平和協会の益子原国彦さんやブラジリア本願寺住職の佐藤清利さんも写真展の開催にとても前向きでした。また、サンパウロの大学生も大学で写真展を開きたいと申し出てくれました。



◆台湾 緑色公民行動聯盟の吳小端さんからは「写真展を開くだけでなく、教育プログラムにもぜひ写真を使



◆アジア・ヨーロッパ・ピアプルス・フォーラム 最終日には、アジア、ヨーロッパのZNOなどが参加するアジア・ヨーロッパ・ピアプルス・フォーラムの事務局を務めるフィリピンの人たちも訪れました。今年10月にラオスで開かれる第9回フォーラムでの写真展の開催について打



使わせてほしい」という申し出がありました。

診したところ、実現の可能性は十分にあるとのことでした。

他にも、韓国、中国、ケニア、ドバイなど、各国の反核、脱原発関係の人たちと知り合いました。写真展の開催の可能性を探ると、感動の連続です。とり、好感触が大きい。い、と改めて感じました。



◆アメリカ リオ+20の会ったアーティスト(平和のためのアート)の紹介、ニューヨークの副代表のフランク・ドミンゲスさんと会った写真

平和のための様々なイベントを手がけてきた島、長崎にもとても強い関心を持っていました。持参した写真の資料を見せたところ、ニューヨークはもちろん、アトランタをはじめ、他のアメリカの都市や、ロンドンのテムズ川にある展示場やワイクショップをする船などの展示ができるように話を進めたいと提案されました。フランクさんは、今、関係する人たちに話を聞いてくれています。楽しんで開けるか、楽しみです。

OWABIのメッセージに理解

父、森下一徹は、世界百力国で世界ヒバクシャ展を開催することを目指していましたが、福島第一原発の事故で日本に対する関心が高まっている今、世界を旅して回りたい。核の世界の実現を、核の平和を大切にして、今回の縁を大切にしたいと、現世で写真展開催を思

く理解してくださり、心強く感じました。

譜面台で写真展



東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターでの脱原発音楽祭(6月30日)と脱原発映画祭(7月1日)では、譜面台を使って写真展を行いました。

原発建設地の大間で写真展

6月8、10日、青森県大間町で世界ヒバクシャ展を開催しました。大間町では大間原子力発電所が建設途中で、建設地のご家族が故郷を離れて建設地に移住しています。そのため、建設が遅れて炉心には核燃料が入っていません。福島原発事故後も、青森県内のテレビでは原子力関係の宣伝が流れています。この時期だからこそ、写真を見てもいい、少しでも声が出せる場があればいい、大間の方と協力して開催しました。来場者は3日間で35名で、大間の方は8名くらいでした。人の目が気になって来られないという方も、青森市や十和田など遠くから来たり、むつ市でも写真展を是非やりたいという声もいただきました。(清水さち子)

ネットギャラリー開設を目指します

ネット上での“写真展”の仕組みを秋までにつくって、より多くの人に写真を見てもらうとともに、海外での写真展開催などの費用も捻出していきます。

◆森下一徹の近況
父、森下一徹は、ここ数年、慢性腎不全などで寝たきりの生活が続く中、世界ヒバクシャ展の活動も中断せざるを得ませんでした。今年に入ってから、かなりの回復を見せています。電話も取れるようになり、世界ヒバクシャ展の活動再開は、父にとっても生きる張りになっていくようです。

外出は車椅子でしかできませんが、室内では食卓やトイレまで歩けるようになってきました。以前は、巡回入浴のお風呂にしか入れませんでした。今は自宅の浴槽に入浴できるくらいに回復しました。看護婦さん、ヘルパーさん、お医者さん、母や弟に支えられてなんとか頑張っている森下美歩

編集後記 再スタートに当たって、これまでお世話になった方々に改めて感謝いたします。ありがとうございます。リオ+20では、現地映像製作をされている岡村淳さんやブラジル在住経験のある印鑰智哉さんから多くの応援をいただきました。資金は今のところ持ち出しばかりですが、応援してくださる皆様のおかげで、活動が軌道に乗せたいと思います。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。事務局 安在尚人

NPO法人世界ヒバクシャ展
〒152-0031
東京都目黒区中根1-6-7 603
Tel & Fax 03-3723-1004
メール hibakushaten@gmail.com
URL http://no-more-hibakusha.net
スタッフ 森下美歩、安在尚人
辻村真知子、清水さち子
発行 2012年7月22日